

Ⅱ、略奪隊を追撃するダビデ

1、ダビデがアキシュ軍に加わったのは、自分たちの家族を守るためでした。その留守を狙って、アマレク人に略奪されたのです。

①ガラテヤ 6 : 7 を読みましょう。ダビデと共にいた兵は略奪された状況を見て泣きました。どういう思いだったのでしょうか。(Iサムエル記 30:4)

②ダビデと共にいた兵は、どうしてダビデを殺そうとしたのでしょうか。
(Iサムエル記 30:6)

③ダビデはどうしましたか。(Iサムエル記 30:6~8) 詩篇 56 : 4~5 を読みましょう。

- ・非常に悩んだ、苦境に立たされた(V6)
- ・主によって自分をかづけた(V6)
- ・主に伺いを立てた(V8)

2、危機的な状況で、ダビデの祈りに主はどのように具体的に応えられたのでしょうか。

①ダビデに略奪隊を追撃するよう導かれ、そうする力を与えられた。(Iサムエル記 30:8)

②野で 1 人のエジプト人を見つけた。(Iサムエル記 30:11~15)

③お祭り騒ぎをしていたアマレク人からの分捕りものもあった。(Iサムエル記 30:20)

3、戦利品について、ダビデは どのようにいましたか。

①疲れて追撃出来なかった者たちにも、同じように分配しました。ダビデはだれのかによって、勝利できたと考えたのでしょうか。(Iサムエル記 30:23)

②ダビデは自分たちがさまよい歩いたすべての場所のユダの長老たちに、戦利品を配りました。その心は何でしょうか。(Iサムエル記 30:23、31)